

平成27年度当初予算市長復活要求(査定)総括票

別紙1

(単位:千円)

事業名	26年度現計予算額		27年度当初財政課長内示額						27年度当初財務部長復活内示額						27年度当初予算市長復活要求額						市長復活査定額						頁	行政経営計画査定	
	総額	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源			
1 鳥取ノ荘駅及び周辺整備事業	12,124	12,124	0					0	0					0	103,996					103,996	103,996			19,800		84,196	1	継続	
2 コミュニティバス運行補助事業費	37,765	37,765	37,753					37,753	0					0	2,573					2,573	0						0	2	継続
3 路線バス運行補助事業費	0	0	0					0	0					0	1,633					1,633	1,633					1,633	3	新規	
								0						0						0						0			
5								0						0						0						0			
6								0						0						0						0			
7								0						0						0						0			
8								0						0						0						0			
9								0						0						0						0			
10								0						0						0						0			
計	49,889	49,889	37,753	0	0	0	0	37,753	0	0	0	0	0	0	108,202	0	0	0	0	108,202	105,629	0	0	19,800	0	85,829			

※行政経営計画査定欄には、「平成26年度行政経営計画に係る事務事業の取組方針(案)について」の政策的査定結果を記入して下さい。

平成27年度当初予算 市長復活要求(査定)書

別紙2

(目名) 都市計画総務費

(細目名) 鳥取ノ荘駅及び周辺整備事業費 (事業名) 鳥取ノ荘駅及び周辺整備事業

(単位:千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳					
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	
平成25年度決算額	2,678					2,678	103,996						
平成26年度当初予算額	12,124					12,124							
平成26年度現計予算額	12,124					12,124							
平成27年度当初要求額	74,551					74,551	債務負担行為						
平成27年度当初財政課長内示額	0					0							
平成27年度財務部長復活内示額	0					0							
平成27年度復活要求額	103,996					103,996							

千円(年度～ 年度)

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 鳥取ノ荘駅及び周辺整備については、「阪南市交通バリアフリー基本構想」の重点整備地区として位置付けている。また、当駅は、地元請願にあるように、高齢化が進むなか駅改善の地元要望が根強くあり、重点整備地区のバリアフリー整備と併せて駅改札等の整備を鉄道事業者と進め、公共交通が利用しやすい安全・安心な交通環境の形成を図る。</p> <p>(概要) 駅施設整備(スロープ、改札口等) 西鳥取30号線歩道整備 府道自然田鳥取荘停車場線整備 鳥取ノ荘駅前歩行者広場整備 鳥取ノ荘駅前駐輪場整備</p> <p>(根拠法令) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律</p> <p>[復活理由] 平成25年度に鳥取ノ荘駅および周辺整備基本計画を策定し、南海電鉄及び大阪府との協議を踏まえて山側改札、歩道、歩行者広場、駐輪場、府道の設計を行っているところである。 また南海電鉄とは、本市の道路整備事業と連携して山側改札をはじめ、駅バリアフリー化を推進し、平成28年度の整備完成をめざすことで覚書を締結し、合意形成を図っている。 平成27年度は、海側駅舎バリアフリー実施設計、山側改札整備、府道整備及び駅周辺整備工事に着手し、本事業を推進するため、復活要求するものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取ノ荘駅周辺整備工事負担金 南海電鉄による鳥取ノ荘駅山側改札工事に係る負担金(国庫補助対象外部分)。請願駅方式による山側改札整備であるため、国庫補助対象部分以外の工事費を、市が全額負担する。 ・鳥取ノ荘駅及び周辺整備工事補助金 南海電鉄による鳥取ノ荘駅山側改札工事に係る補助金(国庫補助対象部分)。工事費の1/3を市が補助する。 ・鳥取ノ荘海側改札実施設計補助金 南海電鉄による海側改札バリアフリー化に係る実施設計に係る補助金。国庫補助対象事業であるため、設計費の1/3を市が補助する。

平成27年度当初予算 市長復活要求(査定)書

別紙2

(目名) 交通防犯対策費

(細目名) コミュニティバス運行事業費

(事業名) コミュニティバス運行補助事業

(単位: 千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳						
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		
平成 25 年度 決算 額	33,247					33,247	0						0	
平成 26 年度 当初 予算 額	37,765					37,765								
平成 26 年度 現 計 予算 額	37,765					37,765								
平成 27 年度 当初 要求 額	40,326					40,326	債務負担行為	千円(年度～ 年度)						
平成27年度当初財政課長内示額	37,753					37,753								
平成27年度財務部長復活内示額	0					0								
平成 27 年度 復活 要求 額	2,573					2,573								

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) コミュニティバス運行事業については、公共施設等のアクセスや南海本線、JR阪和線との連絡を図ることにより、高齢者等の移動手段をもたない交通弱者に対する移動サービスを図ることを目的とする。</p> <p>(概要) 市内各地域から市役所等の公共施設や、各駅などを連絡するコミュニティバス運行事業について、地域公共交通確保維持改善事業の趣旨に基づき、ICカードシステム導入に係る経費を補助する。</p> <p>(根拠法令) 道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、阪南市コミュニティバス運行事業補助金交付要綱</p> <p>[復活理由] 本市コミュニティバスにICカードシステムを導入することにより、料金精算の簡素化や鉄道、バス交通の相互利用が可能となるなど、利用者にとって多くのメリットがあり、公共交通の利便性向上と利用促進が期待されるとともに、乗降時間の短縮による円滑なバス運行が確保されるなど、交通環境の改善につながるものである。 今後、総合交通輸送システムを構築していくなかで、公共交通の利用促進につながる施策を優先的に実施し、公共交通を利用しやすい環境づくりを推進するため、復活要求するものである。</p>	<p>・コミュニティバス運行補助事業 ICカードシステム導入に係る経費補助。</p>

平成27年度当初予算 市長復活要求(査定)書

別紙2

(目名) 交通防犯対策費

(細目名) 路線バス運行事業費

(事業名) 路線バスICカードシステム整備事業

(単位: 千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳						
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		
平成 25 年度 決算 額						0	1,633						1,633	
平成 26 年度 当初 予算 額						0								
平成 26 年度 現 計 予算 額						0								
平成 27 年度 当初 要求 額	1,633					1,633	債務負担行為	千円(年度～ 年度)						
平成27年度当初財政課長内示額	0					0								
平成27年度財務部長復活内示額	0					0								
平成 27 年度 復活 要求 額	1,633					1,633								

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 南海ウイングバス南部(株)が運行する市内路線バスへのICカードシステム導入を支援し、公共交通の利便性向上や乗継ぎ改善、利用促進を図ることを目的とする。</p> <p>(概要) 地域公共交通確保維持改善事業の趣旨に基づき、市内路線バスを運行する南海ウイングバス南部(株)に対し、ICカードシステム導入に係る経費を補助する。</p> <p>(根拠法令) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律</p> <p>[復活理由] 市内路線バスにICカードシステムを導入することにより、料金精算の簡素化や鉄道、バス交通の相互利用が可能となるなど、利用者にとって多くのメリットがあり、公共交通の利便性向上と利用促進が期待されるとともに、乗降時間の短縮による円滑なバス運行が確保されるなど、交通環境の改善につながるものである。 今後、総合交通輸送システムを構築していくなかで、市内路線バスを運行する交通事業者と連携し、公共交通の利用促進につながる施策を優先的に実施し、公共交通を利用しやすい環境づくりを推進するため、復活要求するものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスICカードシステム導入補助金 ICカードシステム導入に係る経費補助。